10月定例市長記者会見

LINEを活用した市民サービス向上の取組①

市民の声を市政に反映 ~これまでの取組~

車座トーク

期 間:2016年11月~2019年1月

対 象:79学区(町)

参加数:854人

意見数: 1, 096件

意見を反映した主な施策

- ●抜本的な浸水対策
- ●子ども医療費助成の対象年齢の拡大 (就学前→中学生まで)
- ●中学校給食の完全実施
- ●小中学校の空調設備の整備

市政モニター

間:2021年1月~2023年2月

数:計9回(33項目)

象:771人

64.2%

平均回答率

延回答数:4,370人

意見を反映した主な施策

- ●福山城築城400年記念事業 (「チームラボ福山城 光の祭」など若い世代の 関心度が高いイベント)
- ●福山ネウボラの強化 (子ども医療費助成の所得制限の撤廃, 放課後児童クラブの開設時間の延長)
- ●マイナンバーカード申請場所の拡大
- ●市公式LINEの機能拡充

LINEを活用した市民サービス向上の取組① これまでの取組の評価

市政モニターからの意見

- 市政を考える契機となった
- 市政に関する新たな情報を得られた
- ・設問が多いので回答しづらい



市公式LINEを活用した アンケートの参加意向 「参加したい」: 66%

市政モニターでの課題

- 回数を重ねるにつれ回答者が固定化
- 若者の回答率が低い

LINEを活用した市民サービス向上の取組①

(新)市公式LINEによる市民アンケートの実施

LINE登録者約15万人にアンケートを実施し、気軽に、より多くの若者のご意見を伺います

概要

- •選択式10問程度(回答時間3分程度)
- ・自由意見の書き込み欄あり
- ・年6回程度(2か月に1回程度)実施予定
- ・アンケート結果はホームページで公表

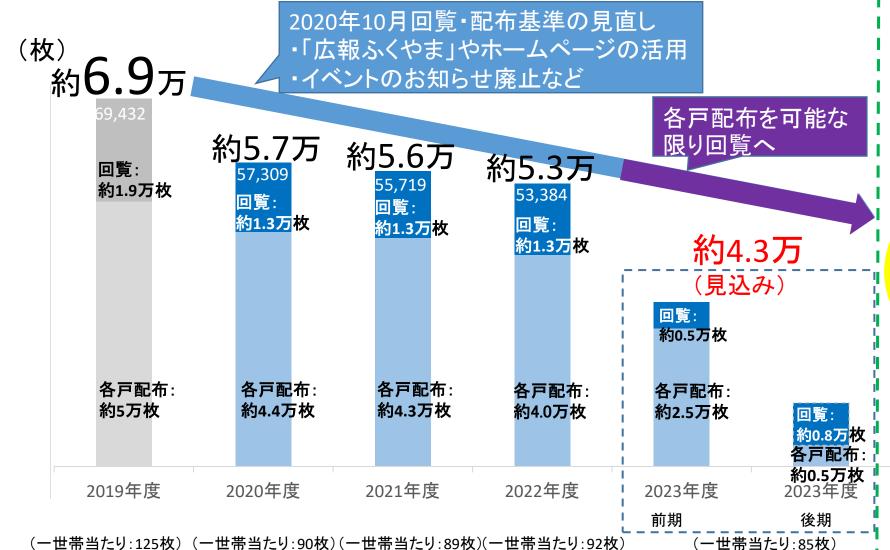
第1回アンケートテーマ(予定) 「これまでの市政の評価と これからに期待すること」



LINEを活用した市民サービス向上の取組②

自治会・町内会への配布チラシの削減

回覧板の見直しの経過(サンプル学区による聞き取り)



全て回覧にした場合 約76% 削減 約1.6万 回覧: 約1.6万 な 2024年度以降

LINEを活用した市民サービス向上の取組②

電子回覧板の導入による更なる削減

(1)LINEオープンチャットの試行スタート 説明会参加21学区のうち約半数

地域での活用例

- •役員間の連絡網
- 会議の出席確認
- イベントの案内
- ・アンケート

期待される効果

- •負担軽減
- •迅速な情報共有
- ・住民同士の交流・コミュニケーションの促進



2023年(全和5年)6月

福山市上下水道局

漏水調査のお知らせ

自治会(町内会)のみなさまへ

(2)2024年度 本格運用スタート

地域未来ビジョンについて

〇地域未来ビジョンとは

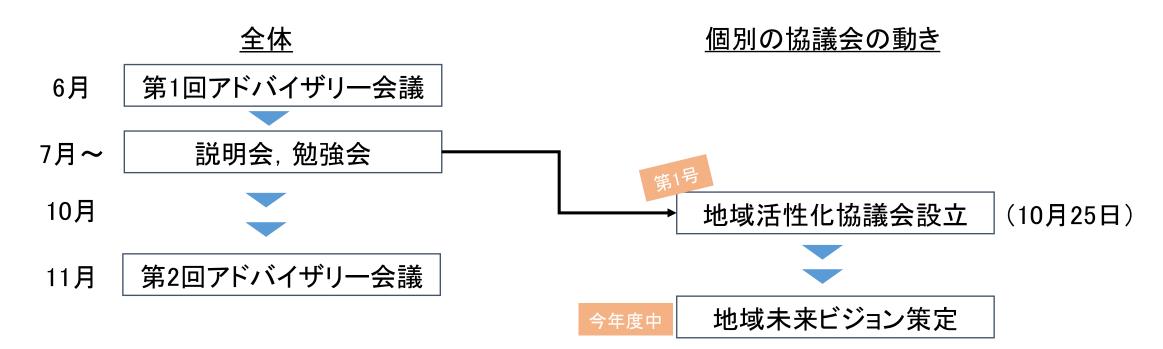
エリアやテーマごとに地域資源活用の方向性やめざす将来イメージ、その実現に向けたロードマップを盛り込んだもの

新たな人や企業の呼び込みによる地域の活性化

〇アドバイザリー会議の役割とは

- ・地域資源活用に関係する各分野の専門家で構成
- ・ビジョン策定に向けた地域資源活用の考え方や 方向性に関する意見のほか, 個別の協議会への 助言を行う

〇これまでの経過



エシカルデニムツーリズムプロジェクト

【めざす姿】

- •「福山=エシカルデニムの産地」 のブランド化
- ※エシカル:人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動 〈出典〉一般社団法人 エシカル協会HP

【プロジェクトメンバー】

- •福山観光旅行株式会社
- •篠原テキスタイル株式会社
- •株式会社Rinnovation

【主な取組】

•3Dボディスキャナーを 活用したオーダーメイド デニム製品の製作



3Dボディスキャナーのイメージ

・市の北部地域に集積する デニムの製造工程を巡る 周遊ツアーの造成



デニム製造の工程見学

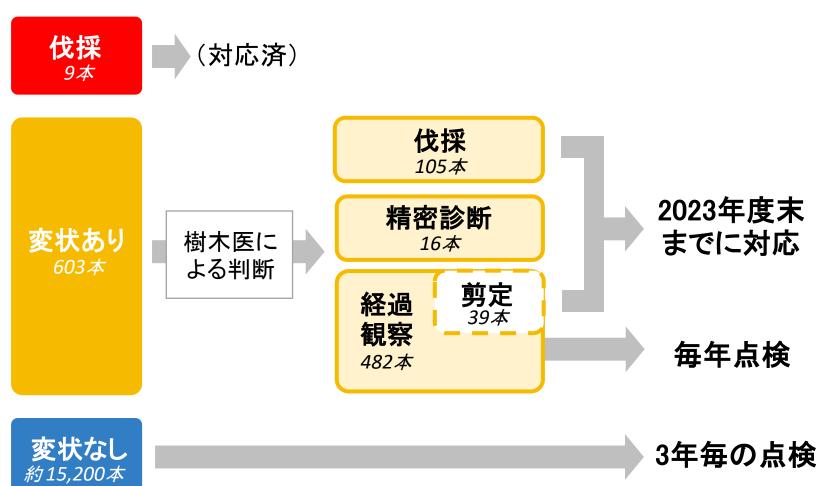
- •廃棄素材の削減
- ・脱 大量生産

- •認知度向上
- •関係人口創出

公園樹木の点検結果及び対応について

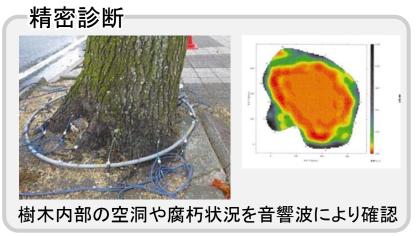
対象の公園樹木約15,800本を,公園管理者が 伐採 変状あり 変状なし に区分し対応

→ 倒木した場合に、被害が想定される樹木で樹高が概ね3メートルを超えるもの









Road to 2025

世界バラ会連合役員の現地視察を受けて

●大会プログラムに関して

評価 準備状況・開催内容は良好

- ⇒会場内レイアウト, タイムテーブルなどの 大会運営内容の精緻化
- ⇒年内を目途に、プログラムやツアーの詳細を 国内外に公表予定

●受入環境に関して

評価 施設状況は良好。国外客サポートに助言

- ⇒本市へのアクセス方法等の情報提供の充実
- ⇒多言語でのサポートの充実(ソフト/ハード) など



